

♪平成25年11月～平成26年1月のできごと

ソーリダーの
毎日 **ម៉ឺន** (ムオイムオイ)

平成26年 2月 第7号

「スオスダイ チュナムトマイ！」（新年おめでとうございます！）日本は寒さが厳しい時期ですね。年中暖かいカンボジアでも乾季になってすぐの12月～1月は朝晩が少し肌寒く、日本の秋のような気候。カンボジア人は「寒い」と言いますが、私にとっては涼しくて過ごしやすい毎日です。今回は大切な祝日と最近の活動、カンボジアの結婚式の様子をお知らせします。



プラムピー メアカラー

ព្រឹក្សា 【1月7日】

1月7日は「プラムピーメアカラー」と呼ばれ、カンボジアの歴史が動いた記念の日として、カンボジアの人たちから大切にされている祝日です。

1970年代、カンボジアでは、革命や内戦が起こりました。カンボジアが国としての落ち着きを取り戻したのは、1998年頃だと言われています。この出来事がカンボジアに与えた影響は大きく、経済発展や教育の遅れをもたらしました。

先日、1970年代当時トゥールスレン収監所（現在は博物館）に収容されながらも、奇跡的に生還を果たしたチュム・メイさんにお話を伺ってきました。家族を目の前で殺された上に、収監所ではひどい拷問を受けたというチュム・メイさんは、心に消えることのない大きな傷を抱えながらも、当時の辛い状況や、みんなで協力し合い、愛し合うことの大切さを語ってくださいました。



現在でも、カンボジアには当時埋められた地雷や、投下された不発弾が数多く残っており、今もなお、地雷や不発弾の被害を受ける方々がいる状況です。暑い中、どこに埋められているのかも、いくつ散らばっているのかも分からない地雷や不発弾を、機械や手作業で探し出す作業は、危険と隣り合わせである上に、とても地道で大変ですが、現地みなさんが毎日汗を流しながら頑張っておられます。

これからのカンボジアが、今よりもっと愛や平和で満たされ、人々が安心して生活できることを願ってやみません。

ひろげよう 情操教育！

私の活動も1年半が経過しました。毎日の授業に重点をおいて活動してきましたが、それと同時に情操教育が普及していくよう様々な方面へ活動の範囲を広げてきました。その一部を紹介します。

鍵盤ハーモニカ教室拡大！

音楽は、教科ではないため、学校での扱いはとても小さく、授業を行っていない小学校もまだまだ多いようです。このような状況から、子どもたちや先生たちが気軽に音楽に触れて楽しめるよう、養成校の近くの小学校で鍵盤ハーモニカ教室を続けてきました。そして年明けからは、指導する熱意のある卒業生の小学校や、楽器指導の導入を希望している小学校でも教室を始めました。大切なのは、カンボジア人同士が教えあい学びあうこと。そのために、楽器の扱いや音楽の基礎、カンボジアの曲を分かりやすく記した教科書をカウンターパートと共に作成し、指導時に活用しています。

鍵盤ハーモニカの指導をする卒業生



研究授業を行うカウンターパート

州をまたいだ授業研究実施！

体育は、教科であるにもかかわらず、教員の経験不足や場所や道具の不足から、簡単な体操しか行われなことが多くです。これからを担う若い教員に指導方法をしっかり習得させるためにも、養成校での授業は重要です。しかし、教員養成校は州に1つしかなく、体育教官は自分の授業を省みる機会があまりありません。そこで、各州に散らばった隊員と教員養成校の体育教官や小学校の教員を対象に授業研究を実施しました。良い点や改善点を話し合う中で、共通認識をもち、それぞれが自分の授業を改善し充実させていく事がねらいです。この授業研究は今後も他州で実施する予定です。



ロダウ リアプカー



カンボジアでは乾季のことを「ロダウ リアプカー」（結婚の季節）と呼びます。カンボジアでの結婚式は屋外で行われることがほとんどなので、毎年、乾季になると結婚式ラッシュ！いろいろな儀式があるカンボジアの結婚式の様子をちょっと覗いてみましょう♪



↑新郎新婦の腕に
糸を結んで祝う儀式

新郎新婦に付く→
3人の付き人



↑朝6時半にやってくる婿行列

↓10回はお色直しをする新郎新婦



以前は1週間行っていた婚礼の儀式も現在は1～2日で済ませるそうです。